

## 2 個別事業評価調書

団体名 伊根町

事業名		伊根浦観光推進事業					
事業の概要		<p>都市農村交流事業をはじめとして、伊根浦の遊休土地・遊休施設の活用や陸路・海路などの新たな交通システムの構築や観光スポットの発掘、宿泊施設の充実など伊根湾全体を舟屋の里と位置づけ各種の受け皿体制整備や施設整備の構築により短期・長期の観光客等滞在する仕組みづくりを確立することで、地域経済の発展と地域雇用の創出を図るため、提案公募要項を作成した。</p> <p>伊根町役場跡地活用事業 提案公募要項の作成</p>					
		事業期間	平成 18年度				
		総事業費	999	本年度事業費	999	交付金交付額	398
事業評価	事業の必要性	舟屋群の有効な資源を活用できていない状況であり、また、面的な観光関連施設連携が不足している。このため、開発公募の手法により一定の制約を加えつつ業者を選定し、観光関連起業化への取り組みを促進する必要がある。					
	事業の有効性	舟屋群が伝統的建造物群に選定されたことにより知名度が向上し、公募総数の増加など事業効果が向上する。また、新たな観光関連施設が整備されることにより、地域雇用・地域商店街の活性化等が見込める。					
	事業の効率性	伊根浦舟屋群の活用に併せ、遊休施設の活用も図ることができる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 公募内容の選定を地域住民自ら行うことにより、住民自らの合意形成が図られ、観光施策への関心が高まり起業化を促進することができる。					
		3 リーディング・モデル成果 本事業が成功事例になることで、地域内住民の起業化が促進される					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果 遊休財産の有効活用を図る							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること